

ナシ黒星病の防除を行いましょ

本年は黒星病の発生が早く、5月下旬現在、一部では多発している圃場もみられています。これから、梅雨時期に入り、本病の発生がさらに広がる恐れがあります。圃場における発病状況を常に確認し、引き続き、徹底した防除対策を行ってください。

防除対策

1) 発病部位の撤去

○発病した果そう基部、葉、果実は伝染源になるため、見つけ次第園外に持ち出し、埋却等適切に処分を行う。

2) 薬剤防除の徹底

○降雨により伝染するため、梅雨明けまでは黒星病の発生が助長されやすいので注意する。

○地域の防除暦に従って、散布間隔が開かないように予防散布を徹底する。

○散布の際は、薬液を十分量散布し、薬剤が樹全体にかかるようにする。特に、圃場の周辺部など薬液のかかりにくい場所は丁寧に散布する。

○薬剤の連用はできるだけ避け、ローテーション散布を行う。

＜主な防除薬剤＞

薬剤名	希釈倍率	使用量	使用時期	使用回数
ユニックス顆粒水和剤 47	2000 倍	200～700 L/10a	収穫 21 日前	3 回以内
ストロビードライフフロアブル	3000 倍	200～700 L/10a	収穫前日まで	3 回以内
ベルコート水和剤	1500 倍	200～700 L/10a	収穫 14 日前	5 回以内

※農薬を使用する際には、ラベルに記載の登録内容、使用法、注意事項などを確認し、飛散に注意して使用して下さい。



葉部の病斑



幼果の病斑

☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp301.do>) を確認して下さい